

2024年

2024年8月5日

北海道地方 7月の天候

札幌管区気象台
気象防災部 予報課

概況

— 太平洋側で昨年に次ぐ記録的な高温。下旬は日本海側で顕著な大雨。 —

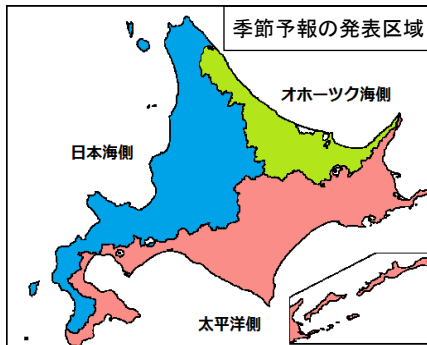
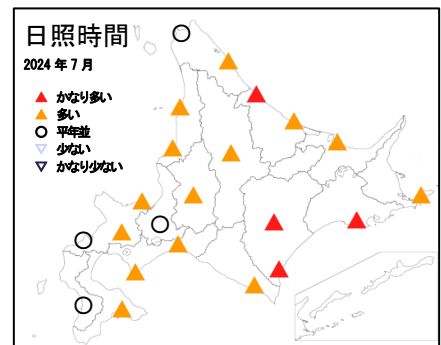
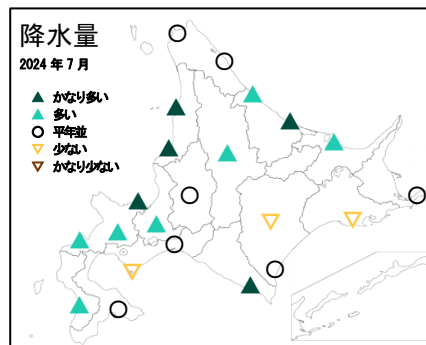
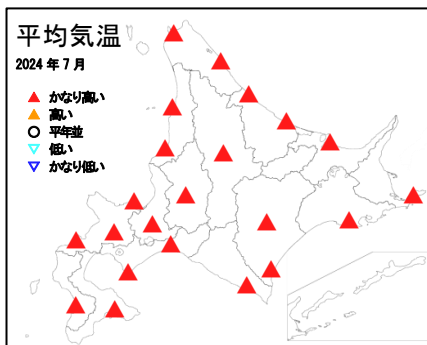
7月は、高気圧に覆われやすい時期があり、太平洋側では湿った気流による低い雲の影響を受けにくかったため、北海道地方と太平洋側で日照時間がかなり多かった。日照時間の多さに加えて、暖かい空気に覆われやすく、さらに南から暖かい空気が流れ込みやすい時期もあったため、北海道地方と全ての地域で気温はかなり高くなった。太平洋側の月平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降高い方から第2位となり、昨年に次ぐ記録的な高温となった。一方で、下旬には低気圧と前線の影響により日本海側を中心に大雨となった日があったため、北海道地方の月降水量は多かった。

上旬：発達した低気圧や上空の寒気の影響でまとまった雨の降った所もあったが、低気圧や湿った空気の影響を受けにくかった。このため、日照時間はオホーツク海側と太平洋側で多かった。気温は、暖かい空気が流れ込みやすかったため、北海道地方、オホーツク海側、太平洋側でかなり高くなった。太平洋側の旬平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降7月上旬として高い方から第1位となった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間はかなり多かった。さらに暖かい空気に覆われやすかったため、気温はかなり高かった。太平洋側の旬平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降7月中旬として高い方から第1位となった。また、低気圧や湿った空気の影響を受けにくかったため、北海道地方と日本海側の降水量は少なく、太平洋側ではかなり少なかった。

下旬：低気圧や前線の影響を受けやすく、日本海側と太平洋側西部を中心に広い範囲で大雨となった日があった。特に24日は旭川市江丹別で日降水量が180.5mmと、1977年の統計開始以降多い方から第1位を観測した。このため、北海道地方と全ての地域で降水量はかなり多く、特に、日本海側の旬降水量の平年比は、1946年の統計開始以降7月下旬として多い方から第2位となった。気温は、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、太平洋側でかなり高かった。

階級分布図



※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。

※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。

※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.7	++	129	+	127	++
日本海側	+1.9	++	152	+	113	+
オホーツク海側	+2.8	++	147	+	132	+
太平洋側	+3.5	++	91	0	142	++

旬の統計値(地域平均)

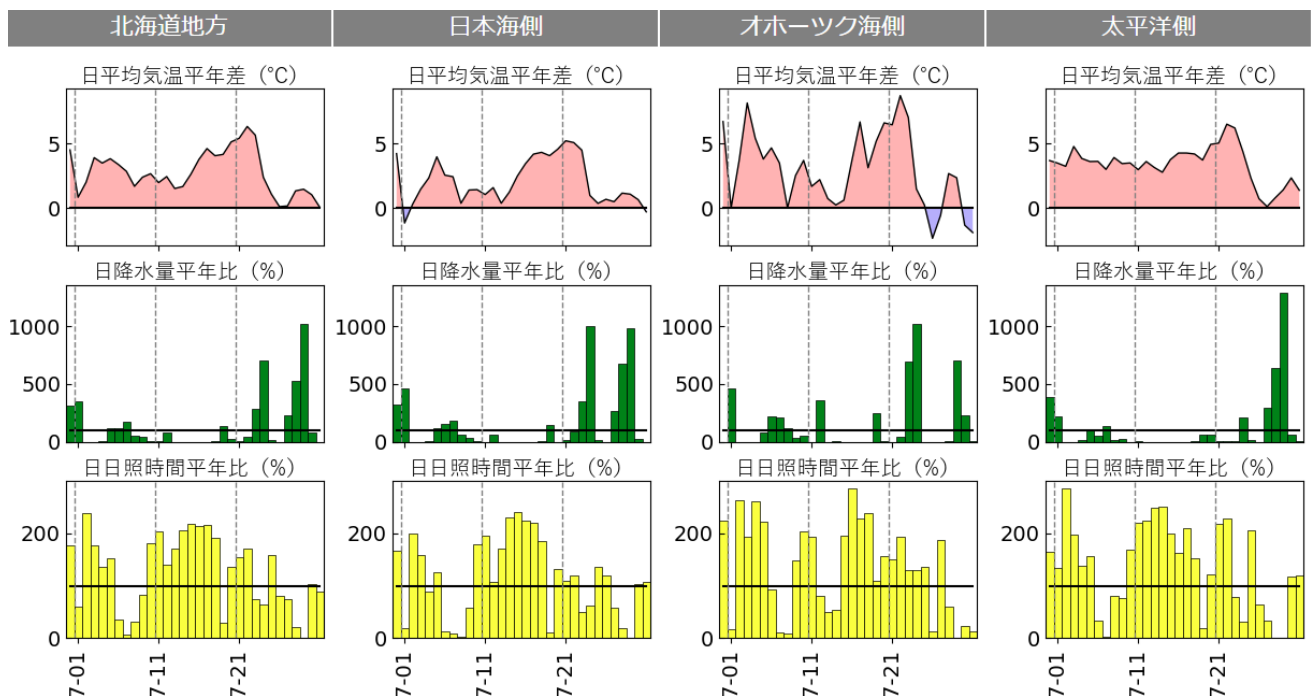
上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.7	++	88	0	115	+
日本海側	+1.5	+	97	0	86	0
オホーツク海側	+3.5	++	123	+	143	+
太平洋側	+3.8	++	59	-	137	+

中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+3.2	++	25	-	174	++
日本海側	+2.8	++	23	-	172	++
オホーツク海側	+3.2	++	58	0	163	++
太平洋側	+3.8	++	12	--	182	++

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.1	++	262	++	95	0
日本海側	+1.6	+	316	++	83	0
オホーツク海側	+1.9	+	234	++	94	0
太平洋側	+2.9	++	209	++	109	0

注)・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の▲、×はそれぞれ、該当する日のデータが資料不足値、欠測であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 °C	平年差 °C	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
札幌	23.3	+2.2	++	144.0	159	+	190.9	114	0
稚内	19.3	+2.1	++	87.0	86	0	158.9	111	0
北見枝幸	19.2	+2.6	++	119.0	95	0	168.2	136	+
旭川	22.9	+2.2	++	175.0	135	+	194.3	122	+
留萌	21.0	+1.4	++	231.5	203	++	188.7	112	+
羽幌	21.0	+1.4	++	255.0	196	++	207.7	124	+
岩見沢	22.7	+2.5	++	114.0	102	0	183.5	117	+
倶知安	21.5	+1.8	++	154.5	151	+	158.9	110	+
小樽	22.0	+1.8	++	201.5	215	++	186.0	114	+
寿都	21.7	+2.2	++	148.0	157	+	161.8	104	0
網走	20.4	+2.8	++	100.0	117	+	200.3	120	+
紋別	20.1	+3.0	++	230.0	212	++	191.7	134	+
雄武	19.4	+2.9	++	187.5	163	+	181.4	137	++
釧路	19.9	+3.8	++	80.5	67	-	183.7	154	++
根室	18.6	+3.7	++	73.0	63	0	160.2	137	+
帯広	22.9	+4.0	++	66.5	62	-	185.5	152	++
広尾	20.5	+3.9	++	128.5	77	0	171.8	159	++
室蘭	21.8	+3.3	++	106.0	67	-	179.4	135	+
苫小牧	21.7	+3.5	++	171.0	105	0	151.5	140	+
浦河	20.8	+3.1	++	240.0	170	++	158.8	137	+
函館	22.8	+2.5	++	143.0	116	0	161.3	120	+
江差	22.2	+1.6	++	147.5	117	+	137.3	99	0

- 注) ・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年	
7月	月平均気温の高い方から	第1位	帯広	22.9 °C	+4.0 °C	22.8 °C (2023)	1892	
			苫小牧	21.7 °C	+3.5 °C	21.4 °C (2023)	1942	
			浦河	20.8 °C	+3.1 °C	20.3 °C (2023)	1927	
		第2位	釧路	19.9 °C	+3.8 °C	20.0 °C (2023)	1910	
			根室	18.6 °C	+3.7 °C	19.0 °C (2023)	1879	
			室蘭	21.8 °C	+3.3 °C	22.4 °C (1924)	1923	
			広尾	20.5 °C	+3.9 °C	21.0 °C (2023)	1958	
		第3位	紋別	20.1 °C	+3.0 °C	21.0 °C (1978)	1956	
		月降水量(多い)	第2位	紋別	230.0 mm	212 %	248.0 mm (2009)	1956
			第3位	小樽	201.5 mm	215 %	242.6 mm (1961)	1943

- 注) ・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 611-0170